

報 廣 清部学園

# 別府清部学園短期大学

- 別府清部学園短期大学
- 大分県歯科技術専門学校
- 別府清部学園高等学校
- 認定こども園ひめやま幼稚園
- ひらた保育園
- 寒田ひめやま保育園

## 祝 令和3年度 (第57回) 卒業式典

弓道部 第69回全日本学生弓道選手権大会出場

水泳部 第81回九州学生選手権水泳競技大会 (個人入賞)  
第2回九州学生秋季公認記録会 (個人2位)

その中でリンカーンが、ある時、同僚と喧嘩ばかりしている一人の青年将校をたしなめる話がある。「自己の向上心を心がけている者は喧嘩ばかりしている暇はないはずだ。おまけに喧嘩の結果不機嫌になったり自制心を失ったりすることをお考え、いよいよ喧嘩はできなくなるはずである。こちらに五分の理しかない場合には、どんな重大なことでも相手に譲るべきである。こちらに十分の理があると思われる場合でも

「妥協しない生き方なんて、偉くもなければ、尊くもない。虎にもなり、猫にもなる生き方こそ最高のものだ。」という言葉である。我々は、社会で自分を認めてもらうために、

私から巣立つ社会で受け入れてもらうためには、私の人生哲学を是非、実行してほしい。

諸君の大成を心より祈念してお祝いの言葉としたい。

さようなら！

卒業生諸君、卒業誠におめでとうございます。努力が報われ、ようやくゴールに着いた安堵感十分には推察できる場所である。

そこで、私の人生哲学をプレゼントしたい。私が二八歳頃に読んだのが南北戦争をあつかった本である。

つねに相手の意見や言葉に耳を傾け、相手の立場を相手と同様に理解できる者でありたいと思う。しかし、ふりかえってみると、議論に熱が入り、いつのまにか相手を論駁しようとしていた自分に気がつくことがある。相手は、論駁されて、心から非を認めたとしても、その事を快く思うことは少ない。従って、自分を論駁する人に好意を持つことは少ない。議論で勝つても空しい。むしろ、議論や反論をしないことである。

八年程前に十時間に及ぶ大手術をした時に、小・中・高の友達が見舞いに来てくれた。高校の友達は来てくれるかも分からないが、普通に考えて小学校の友達が出来てくれることは先ずないであろう。

これから巣立つ社会で受け入れてもらうためには、私の人生哲学を是非、実行してほしい。

諸君の大成を心より祈念してお祝いの言葉としたい。

さようなら！



### リンカーンの生き方に学ぶ

学校法人 清部学園理事長  
別府清部学園短期大学学長  
清部 仁

小さなことなら譲った方がいい。細道で犬に出会ったら権利を主張して噛みつかれるよりも、犬に道を譲った方が賢明である。たとえ犬を殺したとしても、噛まれた傷は治らないからである。」と。

妥協しないことが大切だと考えている輩が多い。我々は、その議論に変更の余地がある場合は、虎ではなく、猫に豹変するという深い意味である。この場合、猫になったから、馬鹿にされるのではなく、妥協をせずに虎のままにされる、孤立する原因であることを知る必要がある。私は、これらの本に出あってからは議論をしたり、自己主張をするのを控えるようにしてきた。

一昨年、未知の感染症であったコロナの対応に途方に暮れていたことを思い出す。ワクチンの開発も進むなか、新しい生活様式を模索していた。そして今年、ワクチンの有効性が実証され、新しい生活様式にも慣れ少し落ち着いてきたと思っていた時に、新しいタイプのオミクロン株に晒されることになり、今そのただなかにいる。人類の叡智とウイルスとの闘ぎあいである。しかし、人類は常にそれを乗り越えてきた。だから今がある。

先端的な科学の力は偉大であり、それに支えられてきたことはもちろんのことである。しかしそれだけでは未知の力に打ち勝つことはできない。できる限り早くこの異例で苦しい生活を平常の社会生活に戻すためには、一部の科学者の優れた知見とともに求められるのは、私たち一人ひとりの認識とそれに基づく行動である。

今年度の卒業証書授与式も違和感を持つかもしれない。これも正しく怖れるという認識に基づいた行動である。今しばらくこの行動様式に従っていくべきか。また、いくばくかは異例の行動様式は残るであろう。とはいえ、私たちはきつと明るい日常を取り戻すことができる。それが人類の歴史だから。

今日、この学び舎を巣立ちゆく皆さんも、この一年を振り返ったときに、寂しさを感じることもあるかもしれない。学園祭も実施できなかった。成人式も華やかさがなかった。今日を祝う謝恩会も行えない。しかし、考えようによっては人類の歴史のなときに身を置くことができたことに深い感慨をもって振り返る日がくるにちがいない。

この一年は決して意味のない一年ではなかった。希望を胸に抱き、手には誇れる資格を持ち、心に Mizobe Spirits を秘めた若者として大きく羽ばたくことを期待している。

### 一年を振り返って 意義ある一年

短期大学部長 田邊 勲

### 「留学生たちの清部での日々」

2021年度秋新たにフィリピン、スリランカ、ネパール、中国からの留学生が加わり、インド、インドネシア、ウガンダ、サモア、ベトナム、ミャンマーの10か国の外国人留学生が集う、国際色豊かなキャンパスとなった。在学人数は、科目等履修生を含めると、94名。介護福祉学科、食物栄養学科、ライフデザイン総合学科に所属し、それぞれの目標である他大学への編入学、進学、日本での就職などに向かって、日々勉強に励み、専門性を高めている。

授業は、昨年度に引き続き、オンライン授業と対面授業のハイブリッド授業で開講。最初は戸惑いがあった留学生たち。どんどん慣れて、教室での授業と変わらない元気な笑顔と声があふれた。その授業の成果もあり、今年も多くが日本語能力試験N1、N2に合格し、日本語試験でも高得点を獲得した。日本での就職のため、「特定技能ビザ」「宿泊」「外食」分野に挑戦し、合格した留学生もいる。今後も、本学で勉強した成果を資格取得、点数で出し、それぞれの夢に一つずつ着実に近づいてもらいたい。

昨年度に続き、コロナウィルスのせいで、大分県内の国際交流活動は、縮小、キャンセルが続いたが、2021年10月31日大分市主催のおおいたワールドフェスタ2021に参加し、パフォーマンス部門のトップバッターとして「世界民族衣装ファッションショー」に出演した。緊張する姿も見られたが、ステージ出演と裏方として活躍した留学生たちは、久しぶりの国際交流活動を楽しんだ。現在、本学には、母国スリランカ、中国、ネパールで入国・入学を待つ留学生たちが多数いる。その学生達へのオンライン日本語講義を実施し、好評を得ている。一日でも早く日本に入国できる日が来るようにしていただきたいと切に願っている。

また、国際交流課では、「コロナ禍でもできる国際交流」として、中国上海、大連の友好締結校との連携を深め、日本語や日本文化の授業を開講している。

ポストコロナを見据え、今後も「別府清部学園短期大学で学びたい」留学生たち、在学学生たちと共に歩んでいきたい。

2021年度 (一社) 日本家政学会 第73回大会

副学長・介護福祉学科 教授 溝部 佳子

日本家政学会大会へ大分県幹事として参加した。 2021年5月28日(金)30日(日) (会場) 神戸女子大学(オンライン開催) (主催) 日本家政学会 (大会プログラム) 研究発表(口頭) 公開講演会 シンポジウム

2021年度 日本介護福祉学会大会 コロナ禍における介護福祉の挑戦

副学長・介護福祉学科 教授 溝部 佳子

日本でも、世界でも、COVID-19の感染症との戦いが介護現場で広がり、その中で介護職を社会に欠かせない「エッセンシャル」な職種と捉える見方が広がり、これまでにない状況である。改めて、介護現場の介護職の役割、また日本の介護福祉士を中心とした「介護福祉実践」の意味が問われていると思う。介護現場では、新たな状況も生まれてきている。現場の介護福祉の実践者・研究者等が、介護政策を動かす動きは日本だけではなく、アメリカでも見られる。アメリカの介護現場からの政策提言が、バイデン政権の介護政策、介護職政策を動かしてきている。日本は世界に先駆けて介護職の国家資格化を行った。専門的な「介護福祉」の

令和3年度 日本介護福祉士養成施設協会 九州ブロック教員研修会 「学びをとめない!」 ゆいまーるで育む介護福祉教育

副学長・介護福祉学科 教授 溝部 佳子

2020年は、世界中で新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の事態により、日本社会でも厳しい状況下の1年となった。 昨年開催予定であった九州ブロック教員研修会がコロナの影響により、やむなく延期となり、その代替としてオンラインによる本大会を開催する運びとなった。 従来の教育課程における講義進行や新たに生活様式も様変わりする中で、様々な感染症予防対策を含め介護を志した学生達に学びの機会を絶やすことなく、講義・演習・実習等の学びの質を担保した教育方法を工夫してきたことと思う。また、これまでの外国人留学生の受け入れと並行し、加速する少子高齢社会の社会情勢

生活文化」〜コロナ禍における「手づくりマスク寄贈プロジェクト」の事例」 (淡路島で実現する豊かな生活文化) 方・働き方」

「ポストコロナ時代の新しい生活」 基調講演 「逆参加交代が拓くポストコロナ時代の働き方・住まい方・暮らし方」 講演1「コロナ禍の経験からポストコロナの生活を考えるー生活経営学の視点からー」 講演2「手づくりがかなえる」ともにしあわせになるしあわせ」な

「エッセンシャルワークとしての『介護福祉実践』の意義」 長野大学 教授 太田貞司氏

「生活に芸術をー介護におけるコミュニケーションからー」 芸術文化観光専門職大学 学長 平田オリザ氏(劇作家・演出家・青年団主宰) 昼休み・ランチョンセミナー 「コロナ禍における高齢者介護の現場」 社会福祉法人きらくえん けま喜楽苑 施設長 堀口頭子氏 自由研究発表(口頭) 学会企画シンポジウム テーマ「介護福祉の可能性を探るー地域共生社会を見据えてー」 登壇者・岡田隆行氏・馬場拓也氏・コーディネーター・岡村英佑氏 八木裕子氏(東洋大学) コメントー 本名 靖氏(日本介護福祉学会 副会長)

学会総会 閉会式

学会総会 閉会式

4校 (大会プログラム) 閉会式 基調講演 「専門学校における特別なニーズを有する学生への支援」 (講師) 元琉球大学 教育学部 学部長 緒方茂樹氏

【午前の部】 分科会「コロナ禍における学習の取り組みの工夫」 第一分科会(演習および技術系授業について) 第二分科会(介護実習について) 【午後の部】 「外国人留学生を受け入れてアンケート調査、課題と取り組みの共有」 (講師) 株 Care Connect Japan 常務取締役 山梨 敦也氏

特別講演 「介護業界へのICTの実践」 (講師) 株 Care Connect Japan 常務取締役 山梨 敦也氏

協議会 九州ブロック代表理事 小笠原 靖治氏 閉会式

2021年度 (一社) 日本家政学会九州支部第66回大会

副学長・介護福祉学科 教授 溝部 佳子

日本家政学会九州支部大会へ大分県幹事として参加した。 2021年10月16日(土) (会場) 熊本大学(オンライン開催) (主催) 日本家政学会九州支部事務所 (大会プログラム) 研究発表 特別企画・高校生による家政学研究発表会 学術講演・ミニシンポジウム(公開) 共通テーマ「熊本の復興と生活創造」

令和3年度全国教職員研修会 未来(2040)を支える生活支援と介護福祉士 地域の理解と協力のもとに

副学長・介護福祉学科 教授 溝部 佳子

今年度の研修会は、「未来(2040)を支える生活支援と介護福祉士」地域の理解と協力のもとに」をテーマに、「生活支援」に焦点を当ててみた。「生活支援」とは、生命の活性化の基盤となるものであり、そのために私たちはさまざまな生活行為を、自分の意思で決定して行っている。この生活行為は生理的な欲求だけでなく、精神的、社会的、文化的な欲求を満たす行為であるといわれている。つまり生活とは、人間が人間らしく生きるために行うさまざまな活動のすべてを意味しており、「生活支援」とは、それらを総合的に支える、まさにその人らしく生きることへの支援そのものだと言えるであろう。 介護福祉士は施設や在宅を問わず、「生活

2021年度 別府市議会・別府溝部学園短期大学 連携協定 締結式

理事長・学長 副学長・介護福祉学科 教授 溝部 佳子

別府市議会と別府溝部学園短期大学との連携協定に関する協定書の調印式を実施した。 2021年11月5日(金) (会場) 別府市役所2階 議会議場 市議会議長室 (参加者) 学園側：理事長・副学長・短大部長・事務局長・教務課長・国際交流課長 市議会側：議長・副議長・広報公聴委員会委員長・同委員長・事務局職員

別府溝部学園短期大学側は、別府市の福祉、経済、社会が抱える課題を政治を



展望 (厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室 室長 田中 義高氏) 基調講演 「これからの生活支援に求められることー在宅障害者への訪問介護サービスを通してー」 (訪問介護事業所 ASU ホームヘルパー) 木原健太氏 分科会 第1分科会 介護過程教育力向上を目指す 第2分科会 介護福祉士にとってのチームマネジメント 第3分科会 外国人留学生養成教育の miraiー国家試験合格に向けての教育事例ー 在宅における看取りと生活支援の必要性 講演・介護最前線のリアル(撮影)に拘る理由 (ケアワーク・フォトライター 野田明宏氏) 閉会式

### 一般社団法人日本調理科学会2021年度大会報告

会期：令和3年9月7日(火)・8日(水) Zoomウェビナー

食物栄養学科 教授 望月 美左子

一般社団法人日本調理科学会は、調理科学に携わる研究者、関連分野の研究者、教育者、技術者が参加して、調理に関する科学的研究の推進、その知識の普及を目的に活動を行っている。昨年度は、開催延期となり、今年度大会は、Zoomウェビナーでの開催となった。9月7日に、2017年〜2021年

### おいいた食(ごはん)の日SCHOOL講演報告

会期：令和3年11月14日(日) 会場：ワザワザビル(大分県大分市中央町)

食物栄養学科 教授 望月 美左子

十一月十九日「大分食(ごはん)の日」を含む一週間は「おいいた食育ウィーク」として、食育の推進に関する普及啓発を図るための行事が重点的に行われている。令和三年十一月十四日には、おいいた食(ごはん)の日SCHOOL(大分県主催)が開催された。新型コロナウイルス感染症対策としてマスク着用、入室時の検温、手指消毒が行われた。三密を防ぐため、大分市竹町にあるWaza Wazaビルの二階と四階に、また午前と午後の二部に分け、要予約、人数制限を設けた。四階では、キッズ食育トレーナーのもとむらあさみさんによるおにぎり教室(幼児とその親子対象)が行われた。屋外ブースでは、朝シャキーン

「みそ玉づくり体験 忙しい朝でも安心、簡単美味しい料理を習得!」と題して、一般の参加者(一回一五名)へ、かぼちゃスープ、だんご汁のデモンストレーションとみそ玉づくり実習を行い、朝食に、温かい汁物、野菜をプラスする意義や簡便な方法について講演を行った。補助学生が卒業研究として作成した味噌汁についてのレリーフの配布も行い、味噌汁の良さをアピールすることができた。

### 2021年度ファッションビジネス学会全国大会発表報告

会期：令和3年11月20日(土) 幹事校：文化学園大学

ライフデザイン総合学科 教授 高野 弓枝

ファッションビジネスを研究する者が集まり研究成果の発表を行う全国大会が開催された。令和3年度のファッションビジネス学会は「ファッションビジネスとニューノーマル」をテーマに、現状と今後」と題して、昨年と同様にオンライン形式で開催された。

第1部は「2030FBに向けてのスタートアップ」をテーマに、シンポジウムがオンデマンドで95分配信された。司会はエコテックジャパン株式会社 取締役会長である近藤繁樹氏が行い、

4名のファッション業界パネリスト達が喫緊の課題(SDGs、環境問題、大量生産と大量消費、エシカルファッション等)について、情報の共有やパレル業界のサステイナビリティ活動について事例を交え意見交換を行った。第2部の口頭研究発表は4ルームで同時配信を行い合計32報の発表が行われ、学会ウェブサイトにポスタープレゼンテーション8報が限定公開された。筆者の口頭研究発表は「Z世代が好むプチプラファッションとサステイナブル

代表委員が各地域の行事食の特徴や見どころの発表を行った。大分県は、西澤千恵子(前別府大学)・篠原壽子(前東九州短期大学)・立松洋子(前別府大学短期大学部)・高松伸枝(別府大学)・宇都宮由佳(学習院女子大学)の各先生とともに、「大分県の家庭料理 行事食の特徴 時間をかけて作られる山海美味の料理(とり飯・あじの丸ずし・おひら・鯛めん・物相寿司・あいあぜ・たらおさ等)」についてまとめ、望月が発表を行った。



ファッションの関係についての「考察」と題して、Z世代のプチプラ志向とサステイナブル指向についての現状や各種データからの考察についてまとめて発表を行った。

全国大会の様子は2021年11月29日発行の織研新聞(第20767号)にも掲載され、例年を上回る参加(約850名)があった。リモート形式の学会は好評の上、滞りなく実施され、ファッション教育振興の一助となる有益な学術研究会であった。



### 大分県立中津北高等学校創立110周年・里帰り授業講演報告

会期：令和3年11月5日(金) 場所：大分県立中津北高等学校

食物栄養学科 准教授 江島 陽子

令和3年11月5日に、母校である大分県立中津北高等学校創立110周年記念式典及び記念事業が執り行われた。同校同窓会副会長を務めながら、110周年事業の実行委員としても事業企画しさらには里帰り授業の講師の一人として講演も行うことができた。記念事業の1つに「里帰り授業」があり、「自走力」を総合テーマに医療・教育・建設業・起業家・林業家・パーソナリティ・和楽器演奏者など様々な分野から現役で活躍している卒業生13人の講演事業である。希望生徒30名に対し、管理栄養士の立場から「やるか! やらないか! で人生は変わる」たくさんの経験で私は強くなる」を私の講演テーマとし50分の講演を行った。自分の選択次第で人生が変わること、自分が願えばそのチャンスは幾度も訪れること、

資格を得て働くことの意味を、経験を踏まえた内容である。現在、私は栄養士養成施設で勤務する上で、栄養士の先輩だという気持ちとともに、情報の発信元として、学生と関われるこのお仕事に楽しさを感じている。教員というお仕事をいただくまでに、失敗や後悔を経験と捉えながら進んできた。仕事は自分の存在価値を表す場だと話し、人の痛みを感じることで「強くて優しい人間」になって社会で活躍して欲しいとも語った。留学生との交流を通じて、私が英語を話せなくても「日本語を学んだ留学生が私と交流を持っていてくれることが奇跡だ」と笑いを誘った? はずだ。最後に高校生へのエールとして「唯一無二の存在となり自分の自信に繋げ、幸せな人生を送って欲しいと締めつけた。

### コロナには絶対負けたくない! 留学生の活躍を紹介します!

#### 留学生による日本語スピーチコンテスト結果報告

「OITA提言フェスタ留学生による日本語スピーチコンテスト」が2021年10月30日に大分駅前前の祝祭の広場で開催されました。介護福祉学科1年生のナンスエーさん(ミヤンマー)が大分県の各大学の発表者をおさえ、演題「たったひとつのろうそく」で第一位の最優秀賞を獲得しました。

2021年11月25日には、「第18回外国人による日本語スピーチコンテスト」があり、介護福祉学科留学生コースのヨイヤツアウンラインタンさん(ジョセフさん・ミヤンマー)が、演題「私にとつての介護」で大分県3位の優良賞と賞金を獲得しました。介護福祉学科留学生コースのソーモートウエーさん(ミヤンマー)が「気持ちをオープンにしよう」でOAB大分朝日放送賞、食物栄養学科留学生コースのアマリアファティマラモナさん(インドネシア)が「留学して知った母国」で朝日新聞社賞を獲得しました。皆さんの応援で素晴らしい成績をおさめることができました。ありがとうございました!



# 別府溝部学園短期大学 公開講座 オープンレッジ2021実施

別府溝部学園短期大学ホームページから申し込みます

本年度も、新型コロナウイルスの感染予防のために検温、消毒、マスク着用、3密防止等に留意しながら、本学が保有する専門的、総合的な教育・研究機能を地域社会に開放し、地域住民の生涯学習のニーズに応え、地域文化の向上に資することを目的として公開講座を件数を減らして実施しました。

開設された講座は、  
**別府溝部学園短期大学 1**「魔法のパン屋さん」アンパンマンとカレーパンマンそして温泉プールで遊ぶのね！、2ピカピカ光る!!世界で一つだけの「どろだんご」、3温泉学～別府温泉の魅力、温泉活用法を学ぶ～(正規授業の一般公開) 食物栄養学科温泉コンシェルジュコース、  
**4**大分学～おんせん県おいたをまるごと学ぼう～(正規授業の一般公開) 食物栄養学科温泉コンシェルジュコース、  
**5**温泉文化と活用(正規授業の一般公開) 食物栄養学科温泉コンシェルジュコース、  
**6**温泉入浴指導員養成講座(正規授業の一般公開) 食物栄養学科温泉コンシェルジュコース、  
**7**ハンドベル講座-アドバンスコース-、  
**8**美味しい「小籠包」を作ろう!、  
**9**収穫の秋を味わおう、  
**10**おせち料理を一緒に作りませんか?、  
**11**たのしい菓草講座  
**J:COMホール大分**  
**1**大友宗麟の時代の文学と話し言葉の実態～コレジオで学ばれた『伊曾保物語』『平家物語』などを通して～、  
**2**フラワーアレンジ  
 参加者は幼児から高齢者まで、幅広い年齢層で延べ331名に達し、和気あいあいの中、有意義な時間を共有していました。



## 第16回 読書感想文コンクール

### 【読書感想文の部】

#### 最優秀賞

和田 美紀(幼教二年)

「夕凧の街 桜の国」を読んだ

#### 優秀賞

安倍 正浩(介護一年)

「人間失格」を読んだ

上村 誉子(食物一年)

「ケーキの切れない非行少年たち」を読んだ

岩崎佐和子(幼教二年)

「幼稚園真諦」を読んだ

#### 佳作

小田原佳菜子(幼教一年)

「漁港の肉子ちゃん」を読んだ

川邊 詩菜(ライフ一年)

「幸せを振り返る」を読んだ

大島 海優(幼教二年)

「日本一醜い親への手紙」を読んだ

近藤 真理(食物一年)

「52ヘルツのクワラたち」を読んだ

田村(優奈)(幼教一年)

「山椒魚」を読んだ

#### 【ポスターデザイン】

##### 最優秀賞

大谷 春花(ライフ二年)

「あなたは、何のために本を読むのですか」  
 ある人はこう答えました。「ただ一人、だれにも妨げられない夜のじまのなか、スタンドの灯りをつけて、会うこともない時代の人を友達として親しく語り合う、その楽しみは何にもかえがたいものです。」  
 時を超えて、国を超えて相見ることのできない人と語り合うことが出来る楽しみ、それこそが読書の醍醐味。その人とはこうも言っています。  
 「対面して話し合うときにはすべてを理解しあうってわかりあえる友がいれば嬉しいことだけれど、そんなに都合よくはいかない。」もちろんそれは、それが必要な時もあると思います。しかしやはり本の中に開き自分の心を偽らず語り合えるのは読書の友に及ぶものはないと考えます。その語り合います。ただ、その思いはそのままにしておけば、日々のあわただしさの中に埋もれてしまいがち。そこで彼は「こころにうつつりよくよまなしごとを、そこはかとなくかきつけよう。」  
 「読書感想文」として求められるのは、作品を読んで感動されたこと、その感動を正確に読む人に伝えること、伝えるために必要な本文の引用が適切に過不足なくなされていること、その本の内容がこれから自分にどう関わっていくかということなどが述べられているかということ。もちろん文章作成上の基本を踏まえた上で、文体の工夫であるとか、構成の巧みさなども要素とみなされます。時を超えて、国を超えて相見ることのできない人と何を語り合ったのか、その人のどんな言葉が私の心をとらえ私の心の糧となつたのか、それを私はどう育てるのか、そのような観点をもとに選考を行った結果、以下の受賞者を決定しました。

注(ライフライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼教II幼児教育学科、介護II介護福祉学科)

## ライフデザイン総合学科・食物栄養学科 幼児教育学科・介護福祉学科 4学科合同就職ガイダンス

令和3年度就職支援課年間計画

### 【就職ガイダンス】

#### 第一回 就職ガイダンス

「就活に必要な証明書の手続き・履歴書の書き方作文等」  
 ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科2年次生対象  
 日時/令和3年4月5日(月) 9時30分～11時  
 会場/本館3階 階段教室

#### 第二回 就職ガイダンス

「面接で自分をアピールしよう」  
 (リモート・WEB面接、個人面接と集団面接の差等)  
 ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科各2年次生対象  
 講師/本学非常勤講師 田原 裕子 先生  
 日時/令和3年4月24日(土) 9時30分～10時30分  
 ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、  
 介護福祉学科2年生  
 令和3年4月24日(土) 10時40分～11時40分  
 幼児教育学科2年生  
 会場/本館3階 階段教室

#### 第三回 就職ガイダンス

「面接で自分をアピールしよう」  
 (リモート・WEB面接、個人面接と集団面接の差等)  
 ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科各2年次生対象  
 講師/本学非常勤講師 田原 裕子 先生  
 日時/令和3年5月29日(土) 9時～10時30分  
 参加方法/①自宅Google Meetでの参加型  
 ②各教室での参加型  
 会場/階段教室 幼児教育学科 124教室 ライフデザイン総合学科、125教室 食物栄養学科

#### 第四回 就職ガイダンス

「志望動機・自己PRの書き方について」  
 ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科の各2年次生対象  
 講師/IOキャリアセンター  
 キャリアコンサルタント 田和瀬 修先生  
 日時/令和3年7月3日(土) 10時～11時10分  
 会場/本館3階 階段教室

#### 第五回 就職ガイダンス

「就活のための正しい着こなし・みだしなみ講座」  
 ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科の各1年次生対象  
 講師/スーツセレクトゆめタウン別府  
 店長 田井 様  
 日時/令和3年10月2日(土) 9時30分～10時30分  
 会場/本館3階 階段教室

#### 第六回 就職ガイダンス

「就職活動のノウハウをこれから学びましょう」  
 ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科の各1年次生対象  
 講師/佐々木 剛先生  
 日時/令和3年10月30日(土) 9時30分～10時30分  
 会場/本館3階 階段教室

#### 第七回 就職ガイダンス

「性格検査(一) 一般常識テスト」  
 ライフデザイン総合学科 医療事務コース  
 日時/令和4年1月24日(月) 3限目  
 会場/124教室

#### 第八回 就職ガイダンス

「性格検査(二) 一般常識テスト」  
 ライフデザイン総合学科 医療事務コース  
 日時/令和4年1月26日(水) 2限目  
 会場/123教室

#### 第九回 就職ガイダンス

科目名/一般常識テスト・性格検査  
 人数/5人  
 監督/後藤  
 ライフデザイン総合学科 ファッションブランドコース  
 コース、グラフィックデザインコース  
 日時/令和4年1月26日(水) 2限目  
 会場/123教室

#### 第十回 就職ガイダンス

科目名/一般常識テスト・性格検査  
 人数/25人  
 監督/後藤

### 介護福祉学科

日時/令和4年1月28日(金) 4限目

会場/福祉介護棟

科目名/一般常識テスト・性格検査

人数/15人

監督/後藤

食物栄養学科

日時/令和4年1月19日(水) 3限目

会場/872教室

科目名/一般常識テスト・性格検査

人数/26人

監督/眞本

幼児教育学科

日時/令和4年2月7日(月) 3限目

会場/階段教室

科目名/一般常識テスト・性格検査

人数/53人

監督/寺野

【就職活動のノウハウをこれから学びましょう】

講師/佐々木 剛先生

日時/令和4年2月7日(月) 10時40分～11時40分

会場/本館3階 階段教室

## キャリア教育講座

学生のための教養講座

### ライフデザイン総合学科

ファッションブランドコース

第一回 キャリア教育講座

ブライダルコーディネーター ブライダルブーケの作り方

(ファッションブランドコース2年次生対象)

講師/株式会社 野田麗華園

副社長 野田 淳一先生(現代の名工)

フワフワ装飾大分県技能士会会長

日時/令和4年2月14日(月) 10時30分～12時10分

会場/本館2階 123教室

グラフィックデザインコース

第一回 キャリア教育講座

グラフィックデザインコース インタラクション報告会

(グラフィックデザインコース1・2年次生対象)

日時/令和3年10月13日(水) 9時～12時

会場/記念館3階 マルチメディア教室

【医療事務の仕事について】

第一回 キャリア教育講座

【医療事務の仕事について】

(医療事務コース1・2年次生対象)

講師/医療法人八宏会 有田胃腸病院 医療事務

後藤 瑞希様(卒業生)

日時/令和3年7月19日(月) 16時10分～17時40分

会場/短大本館 124教室

### 幼児教育学科

第一回 キャリア教育講座

【医療機関での療育の実践と保育者の役割】

(幼児教育学科2年次生対象)

講師/別府発達医療センター 課長 末 裕子様

日時/令和3年6月23日(水) 10時40分～12時10分

会場/別府溝部学園短期大学本館 125教室

第二回 キャリア教育講座

【保育における責任と魅力(卒業生講話)】

(幼児教育学科2年次生対象)

講師/やまなみ保育園 日高 牧様

ふたばこども園 吉田 謙伸様

別府発達医療センター 矢野 千尋様

日時/令和3年7月8日(木) 12時50分～14時20分

会場/別府溝部学園短期大学本館 125教室

第三回 キャリア教育講座

【私立幼稚園に関する学生ガイダンス】

幼稚園教育実習I

(幼児教育学科1年次生対象)

講師/大分県私立幼稚園連合会

会長 土居 孝信様

なぎさ幼稚園 園長 藤田 勝志様

めぐみ幼稚園 園長 藤田 勝志様

水泳部



後悔のない選択

主将 近藤 優香

私は兄の影響で三歳の頃から水泳を始め、高校三年の最後の大会でこのまま自分の水泳人生を終わらせたくないと思い、本大学でも続けることに決めました。

しかし、入学してからコロナ禍で練習が思うように出来ず大会も次々に中止となり辛い時期もありましたが、陶山先生と葵先輩が励まして支えて下さったお陰で頑張ることが出来ました。又、寮生活では初めてのことがばかりで上手くいくか不安でしたが、葵先輩が「から優しく教えて下さったので自分自身を成長させることが出来ました。本当にありがとうございます。」

二年生になり、一人の後輩を迎えました。辛い時もお互いに励まし合いながら目標に向かって努力し続けました。最後の九州大会では、集大成と思って自分の力を全て出し切り悔いなく終わることが出来ました。私は水泳を通して、努力し続けることは無駄にはならない事が分かりました。部活と寮生活で得た沢山の経験を活かしてこれからも頑張ります。



弓道部



自分の弱さ

主将 前田 紗季

私は高校から弓道をしており、高校では全国大会出場を目標に日々練習していました。しかし、その目標は叶えられず悔しさともう一度全国を目指したいという思いでこの短大に入学しました。

入部する前から部員が少なく指導者もいないことは知っていて、自分達ならこの環境でもやっていける自信がありました。しかし、部員も少なく指導者もない、更にコロナ禍という環境は私にとってとても辛く、何もできない自分が嫌になり弓道に対する気持ちが冷めてしまいました。何度も気持ちを切り替えましたが、必ず大会には出られるという甘い考えや人数が足りないから絶対に勝てないという気持ちがあり納得いく部活はできませんでした。

この2年間で自分の弱さや不自由なくできることの有難さを感じ、周りの支えがあるからこそ自分が頑張れていることを思い知ることができました。これからは、周りへの感謝を忘れず自分に厳しく生活していこうと思います。



スポーツ大会

10月26日火曜日べっぷアリーナにおいて「令和3年度 短大・歯科合同スポーツ大会」が実施されました。今年メインアリーナがコロナワクチン接種会場となったことにより、サブアリーナのみでの開催となりました。実行委員で様々な議論を交わし、今年度は、午前中に『バドミントン』午後から『9人制バレー』と『ドッジビー』の計3種目を実施しました。試合の前後に手指消毒や用具の消毒したりなど例年ない感染症対策を実施する大会となりました。その中でも、学生たちは与えられた環境の中で汗し、青春の1ページを心に刻むことができたのではないのでしょうか。各競技入賞したのは以下の通りです。

- ◇バドミントン
  - 1位…食物2年A (田中/宮城)
  - 2位…幼教1年A (久多良木/岩波)
  - 3位…幼教2年D (宮崎/野村/酒井) ・ 歯科A ・ 歯科B
- ◇ドッジビー
  - 1位 留学生      2位 幼教1年      3位 歯科B
- ◇9人制バレー
  - 1位 介護合同      2位 幼教2年      3位 留学生



ハンドベルリンガーズ年間活動報告書



顧問 山香 陽子

今年度もコロナの影響を受け、上半期の活動は残念ながら休止状態となりましたが、10月下旬に母子寡婦福祉連合会より演奏依頼をいただきました。短い練習期間となりましたが、幼児教育学科の1年次生7名、2年次生4名、本学教員の寺野先生、羽山先生とともにクリスマスの曲を中心とした5曲を披露してまいりました。この経験が後押しとなり、参加した学生を中心にサークルとしても正式に再開いたしました。現在は、1年次生6名で練習に励んでおります。卒業生OGによるハンドベルリンガーズも、今年度は演奏活動を行うことができました。大塚先生御指導のもと、アートプラザでのクリスマスフェスタに参加し、多くのお客様に天使のハーモニーを届けてまいりました。今後も、学内外でハンドベルの音色をお届けできるよう、力を尽くしてまいりたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

別府溝部学園短期大学での学び

ライフデザイン総合学科ビジネス・観光コース ヤダブ・マノーズ・クマル

日本に来たばかりの時、日本語があまり話せませんでした。しかし、一生懸命頑張っていて、今では日本人の学生と一緒に授業を受ける事が出来るまでの日本語能力が身につきました。また、様々なイベントに参加して、様々な人と協力もしました。例えば、学園祭でネパールの学生みんなでネパールの料理を作って売りました。また、ロータリークラブのみなさんと地域のごみ拾いをしたり、姫山会スタッフとして、スポーツ大会の準備や運営もしたりしました。これらの活動を通じて、自分を鍛えるだけでなく、国際交流の重要性も理解することができ、貴重な経験となりました。

終わりに、私たちは別府溝部学園短期大学を卒業しますが、先生方の支えの下、同級生と楽しい時間を過ごすことができました。これからも自分の目標に向かって頑張ります。本当にありがとうございます。



# 57th FASHION SHOW SENSATION



令和4年2月18日(金)18:00~19:30 ライフデザイン総合学科ファッションブランドコースの学生達によるファッションショーが、新型コロナウイルスの感染予防のために検温、消毒、マスク着用、3密防止等に留意しながら、大分市のJ・COMホールホール大分・小ホールで開催されました。

今年のテーマは「Femme fatale (ファムファタール)」。フランス語で魅力を持った女性という意味です。学生一人一人のインスピレーションからスタートした、非日常のファッションは、奇抜なデザインや楽しい演出でご観覧くださるお客様を魅了しました。

学生達は、一人一人の個性を生かしたサステナブルファッションをはじめ、カジュアルな作品、フォーマルドレスの数々、衣装34点を披露しました。デザインから縫製、ウオーキングレッスンやメイク、ヘアデザイン、アクセサリー等の作成企画演出、BGMまでトータルコーディネートされた自作自演のファッションショーでした。

会場はコロナ禍にも関わらず、県内の高校生や就職先の関係者の方々、保護者の方々、卒業生等の観客で埋め尽くされ、大盛況でした。

コロナ禍で不安と緊張で一杯だった学生達でしたが、斬新なファッションでランウェイでポーズを決めていく姿に胸が熱くなりました。

今年2月18日(金)18:00~19:30 ライフデザイン総合学科ファッションブランドコースの学生達によるファッションショーが、新型コロナウイルスの感染予防のために検温、消毒、マスク着用、3密防止等に留意しながら、大分市のJ・COMホールホール大分・小ホールで開催されました。



令和3年11月20日(土)、第14回 食栄コンテストを開催した。今回のテーマは、「朝食を食べ、朝シャキーン」。大分県における朝食喫食率向上のための食育活動に協賛し、忙しい朝でもしっかりと朝食を食べ、健康の維持増進につなげることを目的とした。また、今回は「チャチャッと朝食」(短時間で誰でも簡単に調理できる)、「しっかりと朝食」(難しくないけれど栄養はバッチリ)の2部門に分けて公募した。

応募総数206作品の中から、18作品(チャチャッと11作品、しっかりと7作品)が本審査に進んだ。当日は新型コロナウイルスの感染対策を行ったうえで、大分県内の高校生、大学生、一般の方総勢89名に参加いただいた。学生はこの日のために準備し、当日もスムーズに運営した。

本審査では、出品者によるプレゼンテーションを、栄養士・行政・高校家庭科教員ら審査員が評価した。チャチャッと部門では、時短のために電子レンジをうまく利用したものや、包丁を使わずに調理できるアイデアなどが発表されていた。しっかりと部門では、野菜がたくさん使われ、栄養についてしっかりと考えられた作品が多かった。どの出品者の発表もレベルが高く、多くの出品者が朝食の重要性を訴えていた。その結果、最優秀賞はチャチャッと部門で「野菜たっぷり衣笠丼」、しっかりと部門で「旬の食材を使った和朝食」が選ばれた。

今回は、全国栄養士施設協会・大分県・大分県栄養士会等に協賛を、大分県カボス振興協議会とJAおおいとより食材を提供いただいた。その食材は、本学学生が調理した昼食や、出品者への副賞として使用された。

今後はまとめ冊子を発行し、大分県内の高校生等にお届けし、食育に役立てたい。これらの活動により、今回の目的である、「一人でも多くの朝食欠食者が生活習慣を見直すきっかけになった」と考える。

食物栄養学科  
第14回

## 食栄コンテスト 「朝食を食べ、朝シャキーン」



## 第40回 モジクモバル



第40回記念公演を12月8日(水) J・COM ホールホール大分10日(金)別府ビーコンプラザにて1年の延期を経て開催することができました。感染症拡大防止の観点から座席数半数、完全予約、演目時間短縮など多くの制限下でしたが、千三百名の地域の方々にご来場いただきました。

オープニングでは、観覧時の感染予防行動をお願いするアニメーションや第30回からのポスター作品と本公演制作過程をあわせたメイキング動画を制作し上映しました。続いて伝統のソーラン節を和太鼓も取り入れ披露。1年次生演目「ドキドキ ワクワク音楽の世界へようこそ!」では、オリジナルストーリーを軸に5チームに分かれ手作り楽器やダンスを織り交ぜ、音楽の魅力を表現しました。例年の2倍とした休憩時間では、ハンドベルを演奏。2年次生演目「雪の女王」冷たい氷と希望の花」では、演技や歌だけではなく背景幕などの大道具、小道具、衣装まで制作。1人でも友達を助けに行く勇氣や冒険により素敵な仲間・宝物に出逢える姿を表現しました。

エンディングでは、実行委員長からの挨拶後、「スマイルキラキラ輝く明日へ」を合唱し、あつという間の終演です。思い出となる松ぼっくりツリーを製作し、来場者への記念品としました。

開催が危ぶまれる状況もありましたが、コロナ禍で制限下にある子どもたちに一足早いクリスマスプレゼントを届けることができました。



介護人材育成と地域貢献を目的として、介護福祉学科発足当初より取り組んでいる「ふくし・ふれ愛ひろば」を今年も開催した。今年度も昨年度と同様、コロナ対策に配慮しながら地域の高齢者を対象とした「溝部学園 地域・ふれ愛ひろば」と県内の高校生を対象とした「溝部学園 ふくし・ふれ愛ひろば」を2回開催した。参加した地域の高齢者や高校生に、介護の素晴らしさや食生活の重要性について披露した。

1回目 「溝部学園 地域・ふれ愛ひろば」  
(日時) 令和3年11月6日(土)  
午前9時~13時  
(場所) 福祉介護棟 1階実習室  
(対象者) 内蔵福寿会31名 学内関係者12名 卒業生1名

2回目 「溝部学園 地域・ふれ愛ひろば」  
(日時) 令和3年11月13日(土)  
午前10時~14時  
(場所) 福祉介護棟 1階実習室  
(対象者) 高校生32名 留学生5名 学内関係者14名

〈内容〉  
テーマを「ほんわか介護くん」と決め、「ほんとうにわかって介護」の必要性を視覚・聴覚に訴えた。オープニングは学生と教員による大正琴演奏から始まり、統括・劇・レクリエーション・食事班に学生が分かれ、各班ともに福祉・介護の魅力を伝えた。また、興味・関心が湧くよう、参加者自ら体験できる企画を盛り込んだ。そして、対象者の特性に合わせた内容とするために、学生が自主的・主体的に取り組んだ。

参加した地域の方からは「楽しかった」「ありがとう」等の声があった。高校生からは「介護についてたくさん学ぶことができた」「楽しかった」等の声も聞かれた。1・2年次生と留学生コースの学生も加わり協働で一つの大きな行事を成し遂げた。このことは学生たちにとって貴重な経験となり、今後の学生自身の成長や自信へと繋がると考える。

# 祝 各種技能検定試験合格者一覽

## 第127回日本語ワープロ検定試験合格者 (令和3年7月実施)

- 【準1級】(ライフデザイン総合学科ファッションデザイン科1年) 板井 沙織
- (ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科1年) 石川 晴菜
- 【2級】(ライフデザイン総合学科ファッションデザイン科1年) 福田 夏鈴
- (ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科1年) 吉崎 琴美
- (ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科1年) 高橋 咲希
- (ライフデザイン総合学科医療事務科1年) 本田 涼葉
- (幼児教育学科1年) 河野 美穂

## 第125回情報処理技能検定表計算合格者 (令和3年7月実施)

- 【準1級】(ライフデザイン総合学科ファッションデザイン科1年) 古川ますみ
- 【3級】(ライフデザイン総合学科ファッションデザイン科1年) 安達 万緒 宮崎 彩季
- (ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科1年) 繁里 歩未 山田ほか
- (ライフデザイン総合学科医療事務科1年) 松井 遥香
- (幼児教育学科1年) 山中 康弘

## 第77回文書デザイン検定試験合格者 (令和3年7月実施)

- 【1級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科2年) 吉崎 琴美
- 【2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科2年) 松本 大河

## 第65回文章入力スピード認定試験日本語合格者 (令和3年7月実施)

- 【1級】(ライフデザイン総合学科医療事務科1年) 原田 静織
- 【準1級】(ライフデザイン総合学科ファッションデザイン科1年) 板井 沙織
- (ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科1年) 石川 晴菜
- 【2級】(ライフデザイン総合学科ファッションデザイン科1年) 福田 夏鈴
- (ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科1年) 高橋 咲希
- (ライフデザイン総合学科医療事務科1年) 本田 涼葉 美矢 佳音
- (幼児教育学科1年) 帶刀 樹里

## 第77回ホームページ作成検定試験合格者 (令和3年7月実施)

- 【1級】(ライフデザイン総合学科ファッションデザイン科2年) 小田原星奈 二本柳 凜
- (ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科2年) 吉崎 琴美
- (ライフデザイン総合学科医療事務科2年) 前田 紗季
- 【2級】(ライフデザイン総合学科ファッションデザイン科2年) 石渡 美羽 造士 菜月
- (ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科2年) 安東 光 石田 椋子 後藤 晨継
- (ライフデザイン総合学科医療事務科2年) 久保 小遥 桑原 麻希

## 第55回プレゼンテーション作成検定試験合格者 (令和3年7月実施)

- 【1級】(ライフデザイン総合学科ファッションデザイン科2年) 二本柳 凜
- (ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科2年) 四井 梨織
- (ライフデザイン総合学科医療事務科2年) 前田 紗季
- 【2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科2年) 後藤 晨継
- 【3級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科2年) 松本 大河

## 第9回しんけん大分学検定合格者 (令和3年11月実施)

- 【初段】(食物栄養学科温泉コンシエルジュコース1年) 豊田瑠羽奈
- 温泉マイスター検定合格者 (令和3年8月実施)

## 福祉住環境コーディネーター検定試験合格者 (令和3年11月実施)

- 【3級】(介護福祉学科2年) 石川 亜実 稲葉 光海 井本 樺乃
- 江口 美月 戎藤 佳音 小野 綾女

## 赤十字救急法救急員 (令和3年12月実施)

- 【認定】(介護福祉学科2年) 石川 亜実 稲葉 光海 稲吉 恭一
- 井本 樺乃 江口 美月 戎藤 佳音
- 小野 綾女 河合 美優 高山 聖颯
- 長谷川 葵 矢方 宏征 児玉 聡子
- 中野 良枝 古川ますみ 藤原あかり
- VUTHITUYETHAI WANGYI
- NANSWYE WANGYI
- 井田 心佳 佐藤りさ子 邱 吉碩
- 蒼 暁 玉 西田 麗花 白 雪
- LETHIKIMHOAN 安倍 正浩 工藤 隆
- BALAMIANITA 安達 万緒 今井 咲希 野中李百花
- (介護福祉学科留学生コース(秋)2年) GURUNG ASHA
- GURUNG SANGITA
- SYANGTANSHANTI
- MAGARSUNITA

## 色彩検定合格者 (令和3年11月実施)

- 【2級】(ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科2年) 加藤 明花
- 【3級】(ライフデザイン総合学科ファッションデザイン科1年) 野中李百花 宮崎 彩季
- (ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科1年) 安達 万緒 板井 沙織 新川 愛実

## FASSHION販売能力検定合格者 (令和3年12月実施)

- 【3級】(ライフデザイン総合学科ファッションデザイン科1年) 安達 万緒 板井 沙織 新川 愛実
- (ライフデザイン総合学科グラフィックデザイン科1年) 野中李百花 宮崎 彩季

## 普通救命講習修了証 (令和3年12月実施)

- 【認定】(ライフデザイン総合学科ビジネス・観光コース(春)2年) ALEMAGARSIMA
- SHRESTHAMANJU (食物栄養学科温泉コンシエルジュコース2年) 稲田 春佳 佐矢野瑛月
- (介護福祉学科2年) 石川 亜実 稲葉 光海 井本 樺乃 小野 綾女
- 江口 美月 戎藤 佳音 小野 綾女

## 日本レクリエーション協会 レクリエーションインストラクター資格証 (令和4年3月取得)

- (食物栄養学科温泉コンシエルジュコース1年) 安部 吉寛 橋 りさ 豊田瑠羽奈
- 松田 裕香 長谷川朱代
- 里中美恵子 田中 晃季

## 温泉コンシエルジュ基礎課程修了証(履修証明書) (令和4年3月取得)

- 【認定】(ライフデザイン総合学科ビジネス・観光コース(春)2年) ALEMAGARSIMA
- SHRESTHAMANJU (食物栄養学科温泉コンシエルジュコース2年) 田中 晃季

## 温泉コンシエルジュ認定証 (令和4年3月取得)

- 【認定】(ライフデザイン総合学科ビジネス・観光コース(春)2年) ALEMAGARSIMA
- SHRESTHAMANJU (食物栄養学科温泉コンシエルジュコース2年) 田中 晃季

# 学園祭報告

令和3年6月13日月曜日、城島高原パークにて姫山祭の代替となる行事である『姫山祭2021』を開催しました。昨年度はコロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされました。今年度は感染症も若干くすぶる中、姫山会役員の実行委員から様々な意見を出し合い、ハーモニーランドやラクテンチなどを視察し、検討した結果、もっともリスクを回避でき、誰もが存分に楽しめるであろう“城島高原パーク”でのイベントを開催するに至りました。

感染症対策に十分考慮し、密を防ぎながらも園内のステージで、姫山祭恒例イベントである『男装女装コンテスト』、パーク内を利用した『宝探し大会』や豪華景品が当たる『ビンゴゲーム』と実行委員が英知を結集し、企画しました。『男装女装コンテスト』ではホール内が感染対策を取った上での満席となり、立ち見客が出るほどの大盛況で、普段とはまったく違う友達の仮装姿に大きな拍手に包まれておりました。『宝探し大会』で各所に隠された“宝箱”を発見しては、猛ダッシュで受付へと姿を現し、豪華景品に歓喜の音が響いておりました。最後の『ビンゴゲーム』でも、次々と読まれる番号に一喜一憂し、存分に企画を楽しんでおりました。

企画以外にも、フリーパスを全学生に配布しながら、並行してイベントを開催したため、学生は各々自分がやりたいことを選択し参加する形式を取り、コロナ禍で、なかなか友達と一緒に楽しさを共有する機会にこれまで恵まれなかっただけに、この日は童心に帰り、おおいに満足した笑顔で城島を後にしていました。



城島高原パーク イベントステージの様子

# ライフデザイン総合学科学外研修

2021年11月23日(火)

場所：大分市グランシアタ

日時 令和3年11月23日(火)

17:00~19:20

開場 大分市高砂町

グランシアタ

テーマ「まほうの音楽会」

ライフデザイン総合学科(ファッションプライダルコース・グラフィックデザインコース・医療事務コース)1・2年生合同の学外研修は、各コース・学年を超え、全員で研修を行ない協働性・コミュニケーション能力・生活スキルを養い培うことを目的として毎年実施しています。

今年度は、令和3年11月23日(火) 大分市高砂町のiichikoグランシアタで行われた『魔法の夜の音楽会』を1・2年生全員と教職員で鑑賞して参りました。

ディズニー・アニメーションやディズニー・映画、テーマパーク



の名曲を50名を超えるオーケストラ・ジャパンの演奏者とソプラノ歌手、ヴォーカリスト8名のアーティストの皆様のコラボレーションを生で拝聴することができました。時空を超えた家族への思いを繋ぐ奇跡の歌「希望を失いかげそうになった時、自分を皆を勇気づける歌」の数々。コロナ禍で心が折れそうな毎日ですが、今回の音楽会は、心の中の大切な想いや新たな希望や勇気を甦らせてくれた研修でした。



# 食物栄養学科学外(内)研修

2021年9月22日(水)

場所：85年館 多目的ホール

食物栄養学科恒例の行事である給食管理実習の報告会を主とした研修を、コロナ禍2年目の中、十分な対策を行った上校内で実施しました。午前中は、4グループにわかれ2年生の報告と質疑応答を行いました。給食管理実習は、栄養士免許取得のための2年次の必須科目です。病院や老人福祉施設、栄養教諭や医療事務資格に関連した報告も行いました。実践の場での体験は、学内での講義や実習とは違い進路選択の方向付けに繋がるとも重要な学びになります。1年生は熱心にメモを取り、手をあげて質問する姿がありました。

屋食は杵築市大田の特産品「お宝めし弁当」を食べ、午後からは体操で体をほぐしたあととレクレーションを行いました。短大生活を思い出に残るものにするために何がいいのかを学生実行委員と教員で考え、しゃべらな

くても楽しめるイベントとして「ジェスチャーゲーム」と2年後の自分に送る「タイムカプセル郵便」を書きま

した。学生や教員とは違い、マスクをしていても笑顔がわかるような楽しい時間と、卒業後の自分をイメージする静かな時間を過ごしました。

昨年同様、行事での感染者を出さず、研修の目的の意義を達成できたことと安培しております。



# 卒業研究報告(二年間の成果)

## 【食物栄養学科】

1 臼杵の味噌を広めたい  
(研究者)岡部 采矢・松村 紗  
西日本一の規模を誇る愛すべき大分県臼杵味噌の特徴を調べ、実際に味噌を作り、他の味噌との味覚比較、味噌料理試作を行い、広報活動を行った。

2 温泉蒸気を利用した「地獄蒸しパン」のレシピ開発  
(研究者)稲田 春佳・佐野野瑛月  
宇戸 りさ・加藤 由佳  
地獄釜でパンを試作し、レシピを開発して冊子にまとめた。温泉蒸気で蒸すと、イーストの発酵臭やベーキングパウダーの臭い・味が弱まり、まるでやかふくくらとした美味しいパンに仕上がることが分かった。

3 集団指導の食育効果について  
(研究者)木村 実果・松廣 真由  
山崎 みのり  
幼児期の野菜嫌いが将来病気を引き起こす問題の解決策として、別府市内の保育園で食育活動を行った。食育効果を研究した結果、保育士との連携と家庭での食育の重要性を再確認した。

4 蒸しスライツについて  
(研究者)葛城 理乃・高橋歩裕未  
蒸し料理の調理法の特徴について調べ、蒸し器、簡易蒸し器、電子レンジの道具による蒸し料理の出来栄比較を行い、簡単美味い蒸しスライツのレシピ検討を行った。

5 ICTを活用した食育  
新しい学びを創造する  
1人1台タブレット端末  
(研究者)井生 晴子・瀬口 裕子  
1人1台タブレットの教育環境に新たな学びの創造を期待した。ICTを活用した食育実践や栄養教諭のICT活用状況から、学びの個別化や学校と家庭が連携した食育の可能性を見出した。

6 本学学生の食生活の現状とそれに対する食育活動について  
(研究者)田中 晃季・塩附 康江  
高藤 美紗  
本学学生の食生活の課題を抽出し、啓発ポスターの掲示、時短レシピの開発・配布、惣菜販売活動を通して、学生の意識改革と食生活の改善を目指した。食育は継続が大事だと感じた。

7 子ども食堂の運営について  
(研究者)平松 真衣・山尾 瑠佳  
子ども食堂の実態調査と関与する方法を研究し、食事提供と食育活動を目指す学生にもっと関わってほしいと感じたが、新たに大きな課題が見えてきた。

8 地域食材の活用と全粒粉の可能性  
(研究者)石崎 風菜・佐藤 瑛  
塩浦 真由子  
地域食材を活用した糖尿病予防のための全粒粉のレシピ開発や、販売を行う。全粒粉は考えや、以上に様々なレシピに活用でき、その可能性は無限大ということに気付いた。

【幼児教育学科】  
1 ICTを使った実習日誌の研究  
(研究者)宇野 真由  
「ICT」写真「エピソード」を用いた実習日誌モデルの作成  
(研究者)岩崎和子・宮田 奈美  
岩崎 寿々子・川野 萌  
本研究では、記録作業の負担軽減および現場に即した記録方法について検討し「ICT」、「写真」、「エピソード記録」を用いた実習日誌モデルの作成を試みた。

2 子どもと音楽を結びつける  
(研究者)安部 香・渡邊 はる  
安藤 佑里恵・中原 柚衣  
幼いうちからスマホを使用することによって、「心身にはどのような影響があるのか」や「健康上の問題のか」について考察する。

3 スマホによる心身への影響  
(研究者)安部 香・渡邊 はる  
安藤 佑里恵・中原 柚衣  
幼いうちからスマホを使用することによって、「心身にはどのような影響があるのか」や「健康上の問題のか」について考察する。

4 影絵  
(研究者)池田 優香・今宮美南  
池田 優香・坂本 凜子  
私たちは幼少期に誰しも遊んだことのある影絵に注目した。子ども達が慣れ親しんだ絵本を題材にすることで楽しんだのを見てもらえ、光と影にも興味をもって影絵について研究を行った。

5 幼児期運動指針と現場の運動活動の取組み  
(研究者)佐藤 勝成・伊豆 七海  
石井 玲緒・近藤 優香  
幼児期運動指針では幼児期の運動を「1日60分以上」と明示している。現場ではどのように解釈され実施されているのか調査を実施した。また結果を受け、運動プログラムを提案した。

6 別府市内の保育所及び幼保連携型認定こども園における障がい児への特別支援に関する調査  
(研究者)廣石 侑美・野間 柚  
榊中 加糖・末廣 美佳  
波多野華琳・宮崎世梨菜  
入田恵里子  
別府市内に居住する障がい児を育てる保護者が、保育所及び幼保連携型認定こども園を選択する際に参考となる各園の特別支援に関する情報の作成と提供を目的として、大分市・別府市・東京都23区の各自治と別府市内の保育所等34園を対象に調査を実施した。

7 就学前施設における劇遊びに関する一考察  
(研究者)牧 直斗・岡田 彩良  
荒平 琴未・江藤 音葉  
大久保美海・安尾 侃平  
子どもたちの遊びが、劇遊びへどのように発展するかが、就学前施設における意義や取扱い、劇づくりまでの実態を調べ、保護者としての自身の指導力を向上させることを目的に研究を行った。

8 手遊びの効果と創作  
(研究者)推原あかり・高茂 牙  
酒井麻那香・平井 泉水  
福田翔太郎・山本 真唯  
渡邊 希陽  
保育現場で実践されている既存の「手遊び」の効果やねらいを分析すると共に、数多くの手遊びを参考に、新たに考案した7つのプロセスによってオリジナル手遊びを創作した。

【介護福祉学科】  
1 認知症の方への接し方  
(研究者)古川 綾子・河合 美優  
小野 綾子・河合 美優  
BPSDに対して、対応出来る事とストレスを軽減した接し方があるかと考え、「ストレスを軽減した接し方」が出来ること」があることを学んだ。

2 ホスピスについて  
(研究者)中野 良枝・高山 聖颯  
王 王  
「ホスピス」ターミナルケアについての知識を深め、最後の時間をより安らかに過ごせるようなケアを行っている施設にインタビューを行い「看取りケア」について学んだ。

3 障がい者スポーツ  
(研究者)石川 亜美・児玉 聡子  
稲葉 光海・長谷川 葵  
障がい者スポーツを行うことの変化や効果に興味を持ち調査を行い、利用者様にインタビューし、大変さや楽しさを体験し、障がい者スポーツについて知る事ができた。

4 中途視覚障がい者について  
(研究者)矢方 宏征・井本 樺乃  
江口 美月・戎藤 佳音  
中途視覚障がい者の移動や生活について理解でき、住みやすい町とは何か、自分達が体験することでユニバーサルデザインやバリアフリーがとて大切だということが分かった。

【ライフデザイン総合学科 医療事務コース】  
1 天気が身体に及ぼす影響  
(研究者)朝吹花奈子  
気圧の変化による体調不良に悩まされており、天候を知らず、天候の原因は内耳のリンパ液が関係していることが分かった。また短大の学生に対しアンケートを実施し、2020年のウェザーニュースの調査と比較した。

2 甲状腺腫瘍がんの基礎知識について  
(研究者)久保 小通  
甲状腺腫瘍がんとは、発症率が約1%である。治療法は手術が推奨されているが、切除範囲が大きいほど合併症のリスクが高まる。欧米では、予防的切除があることがこの研究で分かった。

3 マスクについて  
(研究者)桑原 麻希  
不織布マスクの有効性  
(研究者)前田 紗季  
消防庁のデータによると熱中症による救急搬送の半数以上を高齢者が占めていることが分かった。高齢者は暑さを感じにくく水分を取りたがらないため、対策やその他の予防策について提案した。

4 熱中症について  
(研究者)前田 紗季  
消防庁のデータによると熱中症による救急搬送の半数以上を高齢者が占めていることが分かった。高齢者は暑さを感じにくく水分を取りたがらないため、対策やその他の予防策について提案した。

5 低出生体重児となる原因と対策  
(研究者)吉崎 真尋  
出生時の体重が小さいほど、肺や心臓などの機能が未熟である。それにより「死亡率の増加」「身体的障害」のリスクを増やしてしまう。原因および改善策について考察した。



### 幼児教育学科(内) 研修

2021年9月29日(水) 場所:別府溝部学園短期大学内 ADEドローンサッカーアリーナ

幼児教育学科は、感染拡大防止の観点から別府市での1日研修として、100名を超える学生を4グループに分け、異学年との交流と親睦も行うよう学内と学外の2会場で実施しました。

学内では、卒業生でもある講師をお招きし保育方式に関する研修を行いました。ヨコミネ式では、認定こども園めぐみ幼稚園の衛藤那奈保育教諭、コーナー保育では、よいこの森こども園の池辺伸一園長、安藤智恵保育教諭、山崎誌臣已保育教諭がお話くださいました。写真や映像を用いながら、園の教育方針や保育方式について実践を紹介され、園児自身が目標をもち、努力していきけるように援助していくことが大切さや園児の力を引き出すことが保育者の役割であることなどを学んでいきました。

最先端技術を利用したスポーツとして、ドローンサッカー対決。次世代の社会環境を見据えた保育のため、保育者は学び続けることが大切であることや未来社会での技術の活用とその期待に胸を膨らませていく様子でした。あわせて非接触ユニバーサルスポーツという観点からも学びが深められました。様々な出会いや体験を通して、秋学期からの新たなスタートを志す有意義な一日となりました。



### 介護福祉学科学外研修

2021年10月15日(金) 場所:阿蘇くじゅう国立公園

令和3年度介護福祉学科学外研修として、竹田市の「T.A.O.の丘」野外LIVE劇場にてDRUM T.A.O.の演奏を観劇いたしました。

雄大な阿蘇の大自然のパノラマを背景にした、「天空の舞台」は45分間の舞台ではありませんが、迫力や演出等に一同で盛り上がり、感銘を受けました。

新型コロナウイルス対策を行いながらの研修でしたが、天候にも恵まれ、主に野外での活動にてクラス間だけでなく、1・2年次生の学年間の交流も図れました。

移動途中にはガンジーファームへ立ち寄り、地産のものを堪能し、大自然の澄んだ空気の中で過ごしました。

今回「最新の日本エンターテインメント」と表現されるパフォーマンスの魅力を感じ、努力していくことや、チームアプローチの大切さを学べたことは、今後の学生生活や福祉の現場でも非常に活用でき、学生自身の素晴らしい財産になると考えます。



### 第22回 ライフデザイン総合学科 グラフィックデザインコース 卒業制作・学生作品展 2022



ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース、2年生による「第22回グラフィックデザインコース卒業制作・学生作品展2022」が、令和4年2月17日(木)2月21日(月)の日程で、大分市アートプラザアートホールを会場に開催された。グラフィックデザイナー、DTPデザイナー、Webデザイナーを目指す学生が、

デザイン、DTP、Web、クロスメディアデザイン、写真、素描、工芸等の様々な体験学習を通して印刷、出版、広告、SNSや知識、技術の習得を行っている。今回の展示では、CGに優れたMacを使って制作したコンピュータグラフィック作品(ドキュメント、デジタルアート、クロスメディアデザイン)、写真、絵画、素描、基礎デザイン、イラスト、卒業生作品など約200点が展示された。作品には学生それぞれの個性が出ており、400名近くの方々に興味をもって鑑賞していただくことが出来た。今回グラフィックデザインコースとしての学生作品展は22回目となり、回を重ねるごとに出品点数も増え内容も充実してきている。学生も含めてよい経験となった。今後も学生、卒業生の作品発表の場として、さらに充実させていきたい。



### 第6回イラストデザインコンテスト

入賞

ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコースでは、情報時代を求めらるデザインナーやクリエイターをめざします。その一環として、豊かで柔軟な発想で自分独自のイメージを表現したオリジナルのイラストを募集しました。第6回のテーマは「密」。イラストデザインコンテストには多くの高校生、学生から応募があり、素晴らしい感性にあふれた作品が集まりました。

最優秀賞 西村 一紗さん (大分県立別府翔青高等学校3年) 優秀賞 山上 空美さん (大分県立大分西高等学校1年) 「かくり」 (大分県立別府翔青高等学校3年) 石川 晴菜さん (別府溝部学園短期大学1年) 高橋 咲希さん (別府溝部学園短期大学1年)



### JR別府駅構内 観光ポスター作品展示

2021年3月29日(月) 4月15日(木) JR別府駅構内

例年、4月初旬の「別府八湯温泉まつり」の一環で、学生が作成した、別府を観光客の方々にアピールするポスターなどの作品をJR別府駅構内で展示していた。今年度コロナ禍により「別府八湯温泉まつり」は開催されなかったが、JR別府駅構内での本学学生による作品展示は引き続き行なうことができた。

別府の主要な観光名所の写真やイラスト、キャッチコピーなどを組み合わせ、学生が各々の視点と想いで、学生らしい趣向を凝らしたポスター作品や、段ボールを使用したフレームに学生各々が自由に表現したグラフィックアートを貼り付けた灯籠などを制作

期間中は、子どもからご年配の方まで、多くの方々が作品の前で足を止めて下さり、学生の思いがこもった作品を思い出さずとて楽しんでいただいていた。



### 第14回 わが校自慢コンクール

県下各高等学校には誇ることで人・物・心があります。それを写真という方法でアピールするというのがこのコンクールの所期の目的です。もちろん、写真としての完成度も求められますが、その目的に沿った観点に立って審査を行います。受賞作品はそれぞれの学校で表彰されるとともに、特に優れた作品は毎年2月に本学の「ライフデザイン総合学科卒業制作・学生作品展」に特設コーナーを設定し、展示を行ってまいります。それによって一般の方々にも母校のアピールをすることが出来ます。ただ、残念なことは、このコロナ禍によって高校生の部活動も制限を受け、思うような活動が行われていないのが現状です。とはいえ、その中で本年度も応募があったことに喜びつつ厳正な審査を実施した結果、次の作品を受賞作としました。

- 最優秀賞 羽田野千咲「みつけ!」 (大分県立鶴崎工業高等学校2年)
- 優秀賞 長野羽衣比「あの子と先生」 (大分県立鶴崎工業高等学校2年) 増田 由菜「春の訪れ」 (大分県立鶴崎工業高等学校2年) 長尾 真鈴「夢はパリコレ」 (大分県立鶴崎工業高等学校2年)

- 佳作 高田 留奈「♡(LOVE)」 (大分県立鶴崎工業高等学校3年) 國吉 真琴「No.1」 (大分県立鶴崎工業高等学校1年) 高橋 優奈「シャッターチャンス」 (大分県立鶴崎工業高等学校1年)



### お魚さき講座

二十四年続いた「お魚さき講座」 コロナ禍で二年連続中止に...

～今年度は調理学実習Ⅱに切り換えて実施～ 2022年1月22日(土)9時～12時 場所:85年館 調理室・試食室

大分県内の魚食普及を目的とした佐伯市蒲江漁業青年部連絡協議会主催の本学公開講座「お魚さき講座」は、食物栄養学科の恒例行事の一つである。令和元年1月に24回目的の開催で2年間連続の中止に見舞われた。今年度は昨年とは違い、講座の中止と判断後、この行事を学内の食物栄養学科1年生の調理学実習Ⅱに切り換えて実施した。学生には、体験の機会をもうこれ以上奪いたくないとの判断で1尾と、鯛2尾を購入した。さらに、この日は前日に起きた地震(震度5強)の影響でJRが不通となり、出席できない学生、バスに乗り換え少し遅れて来た学生もいた。学生20名が参加し授業開始。学生は、前日に蒲江漁協のブリ養殖場とブリの捌きの録画を視聴しているが、目の前で、ブリが捌かれる様子を目にするのは、初めて。学生は多量に、3枚に下ろされたブリと鯛を、刺身盛合せ・鯛のアラの味噌汁・鯛のホイル焼きの三品に調理した。 大魚を捌いた学生は「皮と骨が硬くてなかなか切れなくて苦労した」とコメントした。試食した学生は「ブリの刺身は脂がのって美味しかった。これからもっと魚を食べようと思った」と感想を述べた。CTBメディアの取材を受け、学生の様子は後日放送してもらった。来年こそは、蒲江漁業の方との交流ができることを楽しみに、講座の開催を願っている。

# キャンパスに咲いた若人の記録

## 年間行事 Campus schedule

### 春学期



就職ガイダンス

4

春学期開講  
入学式  
オリエンテーション



5

姫山祭(学園祭)



6

第16回読書感想文コンクール  
春学期定期試験  
幼児教育学科保育園実習(2年次生)

7

ライフデザイン総合学科科学外実習  
食物栄養学科医療秘書実務実習  
食物栄養学科給食実習  
幼児教育学科保育園・施設実習(2年次生)  
介護福祉学科介護実習(2年次生)

8

9

幼児教育学科幼稚園実習  
食栄学外研修、幼教学外研修

10

秋学期開講  
頌徳式  
スポーツ大会

### 秋学期

11

介護福祉学科ふくし・ふれ愛ひろば  
就職ガイダンス  
食物栄養学科お弁当コンテスト

幼児教育学科  
ミュージックカーニバル  
(ホルトホール・ビーコンプラザ)  
防災訓練

12

姫山会役員選挙  
食物学科卒業研究発表会  
幼児教育学科卒業研究発表会  
介護福祉学科卒業研究発表会  
就職ガイダンス  
ライフデザイン総合学科  
医療事務コース卒業研究発表会

1

ライフデザイン総合学科ファッション  
プライダルコースファッションショー  
秋学期閉講  
ライフデザイン総合学科グラフィック  
デザインコース卒業制作・学生作品展  
幼児教育学科基礎実習(1年次生)

2

卒業式

3



あ  
と  
が  
き

本学は今年学園創立76周年を迎え、これまでご支援・ご協力下さった方々に感謝し、新たな一歩を歩んできた。今年、東京オリンピック・北京冬季オリンピックが開催され、日本選手団は大活躍であった。しかし、今年も新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延し、日本でも発生、現在も厳しい状況下にある。その中でもしっかりと学び歩んできた皆さんに心からのお祝いを申し上げます。今後とも、検温、マスクの着用、消毒、手洗いがいを徹底し、三密を避ける生活を続けてほしい(コロナ対策)。

卒業生のみなさんには、本学で取得した資格、知識、技術を用いて一歩一歩進んでほしい。本学での2年間を糧にさらなる飛躍を願う。

発行 別府溝部学園短期大学  
大分県別府市亀川中央町  
電話代表0977-660334  
写真 こんぱす  
印刷(株)電子印刷センター